

行政視察研修報告



文教福祉常任委員会

令和2年10月7日から9日の日程で、宮城県大崎市の大崎市図書館、秋田県藤里町の藤里町社会福祉協議会、宮城県塩竈市役所、福島県須賀川市の須賀川市民交流センター「tette」の視察研修を行いました。

大崎市の大崎市図書館は、平成29年7月に開館し、それ以来95万人が利用しており、移動図書館車、医師会と連携した「フラットといしかいサロン」、障がいのある人が利用しやすい書籍の配置や点字図書など、様々なサービスを利用でき、職員たちの熱意が感じられ、大変参考になりました。

藤里町社会福祉協議会では、ひきこもり者支援で大きな成果を上げ、全国的に有名になった「藤里方式」について視察を行いました。社会福祉協議会が自ら福祉の枠を広げ、仕事づくりや地域食材を使った加工品販売、職業訓練の食堂、自立訓練などの事業を行い、弱者と言われる人がまちづくりに参加できるように支援することで、ひきこもり者に限らず生涯現役で活躍する人が増えているということで、「福祉でまちづくり」が実感でき、大変参考になりました。塩竈市役所では、「国民健康



塩竈市役所（担当職員2名（両端）と）

保険税の12ヶ月納付」、「こどもほっとスペースづくり支援事業助成金」、「子育て家庭応援パック」について研修を受けました。須賀川市民交流センター「tette」は、図書館や公民館等の生涯学習をはじめ、子育て支援、市民活動団体支援、市民交流、賑わい創出など様々な機能が融合する施設として、街の中心部に平成31年に開館した5階建ての複合施設です。中・高生など若い世代の新たな居場所になり、10代の利用が38・5%と多く、施設内に子育て支援センター、屋内遊び場、預かりルームなどがあり、子育て中の保護者も利用しやすく、図書館からのまちづくりを実感でき、大変参考になりました。



行政視察研修報告

産業建設常任委員会

②イオンモール秋田
秋田県では一番大きく、床面積124万㎡、グループ内では中核、専門店で約1800人、他イオン本体で数百人雇用している。1997年にオープンして以来順次拡大。利用者は平日15000人、休日は30000人位である。モール内専門店約150を数え、県産品の販路拡大にも積極的である。情報としてイオン石巻店は無料高速道路利用客が多く広範囲から来客がある。

③DPL岩手北上II
大和ハウス工業株式会社が建設した物流センターで建屋内の各10区画に物流会社が入る。立地もIC付近で約半年でほぼ100%入居になる。東北、郡山から仙台間に物流関係施設がなく伊達中央IC付近は有望との見解をいただいた。



発電ボイラー棟

令和2年10月27日、29日にかけて東北方面で視察を行いました。①株式会社大仙バイオマスエナジー秋田県大仙市にある総事業費35億円で整備されたバイオマス発電所を視察した。施設は燃料棟・ボイラー棟・発電棟の3つからなり、隣接する燃料供給事業者より木質チップなど年間82万tを燃料に出力7千50kWを発電している。防塵にはバグフィルターを使用。煤煙検査は2月に1回行うなど環境に配慮している。

④栗原市
「レンタサイクル等の事業」、「栗原市企業連絡協議会」、「チャレンジジョブキープ事業」、「ニュービジネスチャレンジ支援事業」、「栗駒山麓ジオパーク推進事業」について視察を行った。伊達市と同じく10町村合併によりできた市で、雑誌「田舎暮らし」などで移住先希望者が東北では常に上位入りしている。また高校生の地元就職率が極めて高く、市の取り組みについて参考にしたい。



物流センター内

議会運営委員会

令和2年11月5日から6日の2日間の日程で、岩手県久慈市議会、滝沢市議会及び紫波町議会の視察研修を行いました。今回の視察は、「通年議会の取り組み」について、①通年議会を導入した理由、②本会議、委員会の開催経費、③開議（再開）のルール化、④専決処分（指定）という4項目の質問事項を提示し、それぞれの回答内容をもとにして質疑応答、意見交換を行いました。



久慈市役所

久慈市議会では、通年会期制の導入による主なメリットとして、専決処分の抑止。審議時間の確保による政策提案力の向上。災害発生時などの緊急時に

対応ができる。年間スケジュールが明確になる。議会主導で本会議を開催、変更や議会主導で委員会の所管事務調査が実施できる。議案等をいつでも提出できることにより、工事・契約案件の着手や意見書の提出時期を逸することがない等、数多く示されました。当初、執行部の議会対応への負担増加や議員の地域活動への支障等が懸念されましたが、十分に協議を重ね、理解を得ることができ、議会、執行部ともにデメリットはないということでした。